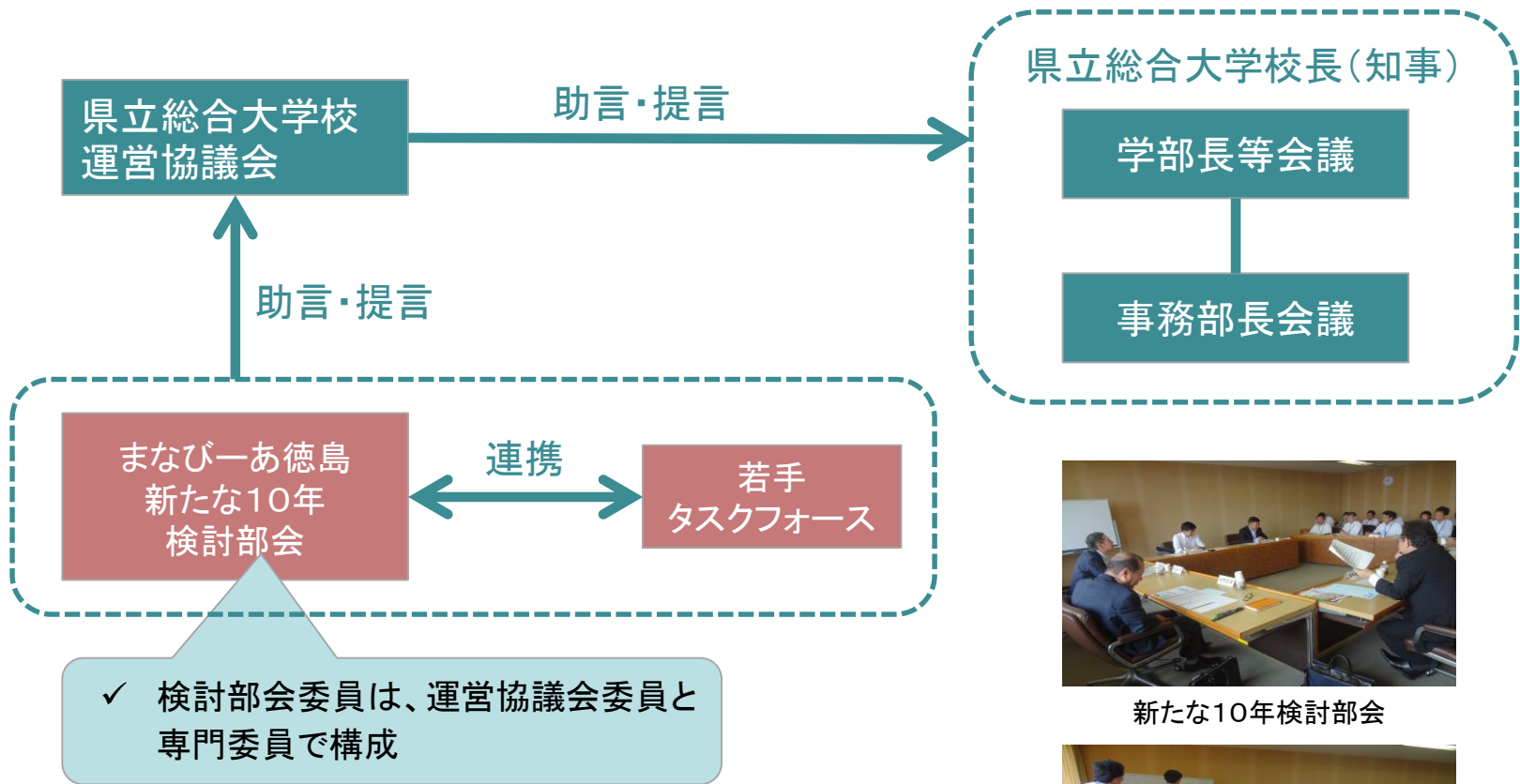


徳島県立総合大学校の今後10年の 新たな展開に向けて

徳島県立総合大学校新たな10年検討部会

平成30年3月

今年度、“まなびーあ徳島”の今後10年の新たな展開について
検討しました。



新たな10年検討部会



若手職員タスクフォース

今後10年の新たな展開を、大きく三つに整理しました。

学びの対象

1. 高等教育機関など多様な主体との連携強化と、受講者層の拡大

学びの内容

2. 「課題解決型の学び」への進化と、「新たな課題に対応した社会教育」の推進

学びの手法

3. 双方向や参加型、ICTの更なる活用による新たな学びの手法の拡大

1. 高等教育機関など多様な主体との連携強化と、受講者層の拡大

- 高等教育機関や民間事業者など多様な主体との連携をよりいっそう強化し、それらの有する知的・人的資源を活用しながら、**成果を地域社会に還元**する仕組みの構築が必要
- 受講生について、増加するアクティブシニアにとどまらず、**若い世代、障がい者**などにも拡大し、新たな講座や仕組みを作っていくことが必要
- 人生100年時代、少子高齢社会においても経済社会の活力を維持していくためには、誰もがいくつになっても、新たな活躍の機会に挑戦できるような環境整備が求められており、何歳になっても学び直しができる**リカレント教育の重要性の高まり**に対応することが必要



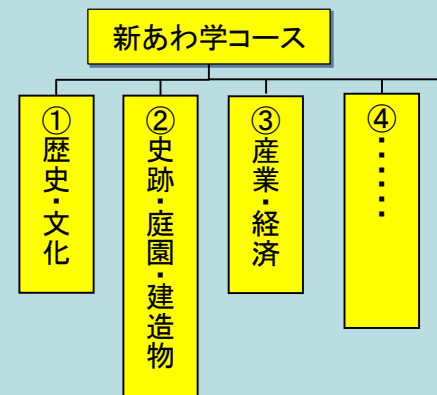
大学サテライトオフィス活動報告会



1. 高等教育機関など多様な主体との連携強化と、受講者層の拡大

【取組の方向性】

- ① 大学と連携した「**地域を学ぶ講座**」の創設
- ② **大学サテライトオフィス**との連携強化
- ③ **首都圏の大学**との連携講座の県内展開
- ④ 高等教育機関が有する**先端機器等**を活用した学習機会の創出
- ⑤ 「**とくしまフューチャーアカデミー**」の創設
- ⑥ 「**障がい者の学びコース**」の創設
- ⑦ 高等教育機関等と連携した「**社会人の学び直し**」の場の提供



明治大学・徳島大学・徳島県
連携講座

2. 「課題解決型の学び」への進化と、「新たな課題に対応した社会教育」の推進

- 学習したことを地域の活性化や課題解決に活かし、それぞれの地域において「地方創生の担い手」となり、「一億総活躍社会」を先導する人材となるような「課題解決型」の学びの推進が必要
- 経済社会の変化や科学技術イノベーションの進展等、急速な経済社会の変化に応じて社会で活躍していくため、消費者教育やエシカル消費、最先端の技術の習得など、新たな課題に対応する社会教育が一層推進され、社会に出た後も必要とされる知識や技術を身につけられるよう支援することが必要



とくしま学博士による講座



とくしま科学技術アカデミー
「リケジョ養成講座」

2. 「課題解決型の学び」への進化と、「新たな課題に対応した社会教育」の推進

【取組の方向性】

- ① 「とくしま学博士」による講座新設、「とくしま学博士交流ひろば」の創設
- ② 地方創生を担う人材を養成するための講座の開設
- ③ 地域住民や関係する団体等との連携を支援する
「学びのファシリテーター」の養成
- ④ 「生涯活躍のまち構想」との連携強化
- ⑤ 移住者と地域住民が、相互に教え、学び合う講座の充実
- ⑥ 消費者教育の推進
- ⑦ 最先端技術に関する学習機会の充実
- ⑧ 「防災生涯学習コース」の充実



県庁1階すだちくんテラス



3Dプリンターによるミニ四駆作り

3. 双方向や参加型、ICTの更なる活用による新たな学びの手法の拡大

- 講義中心の講座から、「アクティブラーニング」や「フューチャーセッション」など、
双方向や参加型の講座のより一層の充実が必要
- 住んでいる地域や時間にとらわれずに学習できるよう、
ICTを活用した学びの機会をより一層拡大することも重要



アクティブラーニング

【取組の方向性】

- ① スマートフォンやタブレット端末など多様な媒体による学習環境の整備
- ② 「アクティブラーニング」や「フューチャーセッション」方式の積極的導入
- ③ 新たな「e-ラーニング」の活用

